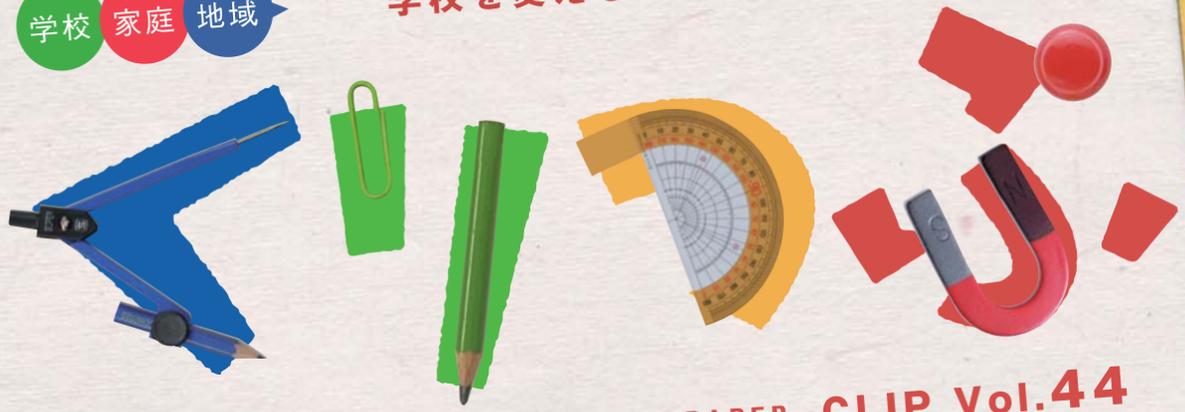


学校 家庭 地域

学校を変える。教育が変わる。



CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER CLIP Vol.44
平成22年11月1日発行 広島県教育委員会

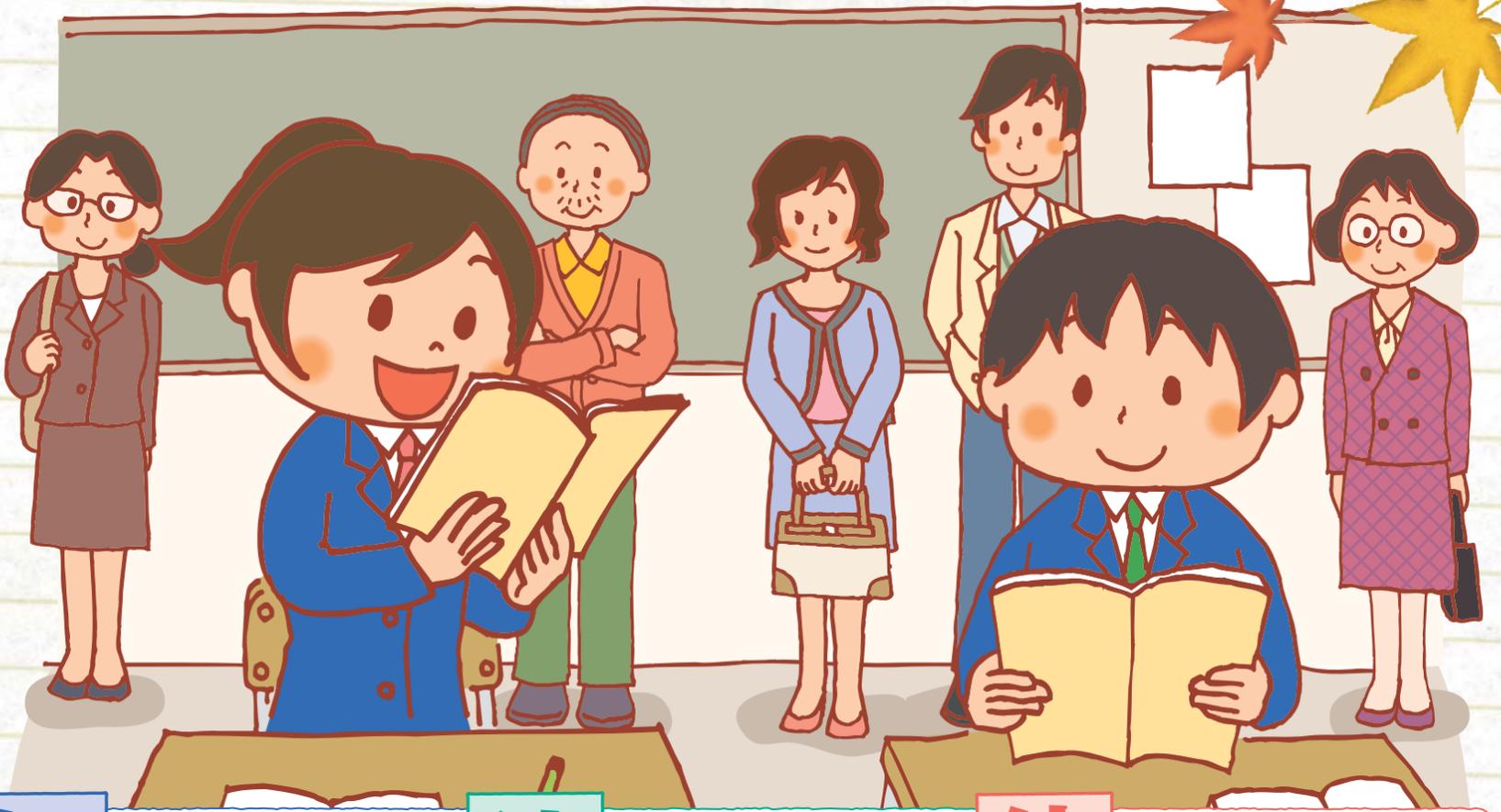
内容

- 「知・徳・体」の基礎・基本の徹底に取り組んでいます
- 今年度の学校でのさまざまな取り組みを紹介します
- 頑張る学校訪問記 第8回
- やりがい～人づくりの現場から～ 第12回
- おでかけガイド

11月1日は、「ひろしま教育の日」
11月1日から7日は、「学校へ行こう週間」
——今年の「ひろしま教育の日」メッセージ——
希望へと延びる階段 駆け上げろ

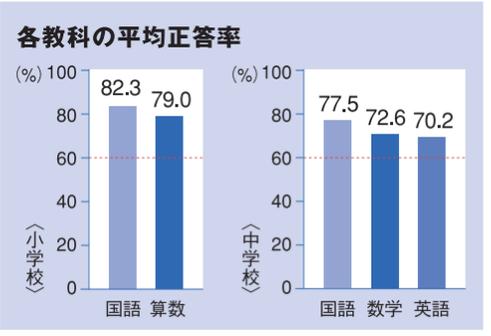
「知・徳・体」の基礎・基本の徹底に取り組んでいます

ぜひ学校へお出掛けください!



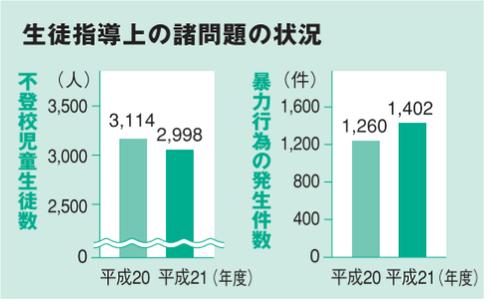
知

今年度、小学5年生と中学2年生を対象に実施した「基礎・基本」定着状況調査では、調査したすべての教科において、平均正答率が60%を超えています。この結果から、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。



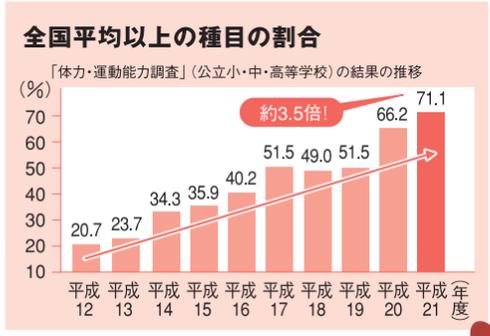
徳

公立小・中・高・特別支援学校でのいじめの認知件数、公立小・中学校での不登校児童生徒数は、連続して減少。一方、暴力行為の発生件数は、平成19年度以降、公立小・中・高等学校合計で増加。特に、小学校における発生件数が2年連続して大きく増加していることなどから、早急な対応が求められています。



体

体力・運動能力調査の結果、本県の児童生徒の体力・運動能力は、着実に向上しています。しかし全国平均を下回る種目もあり、体育の授業や特別活動、運動部活動など、教育活動全体を通じて体力向上に取り組む必要があります。



中面では今年度の取り組みを紹介しています GO!

広島県教育委員会ホームページもご覧ください。

ホットライン教育ひろしま

検索

クリック!



私たちくりっぷタウンの住人です！子どもたちの成長のために一緒に考えていきましょう。

今年度の学校でのさまざまな取り組みを紹介します

知

自分で考え表現する、確かな学力を付けよう！

●中学校学力向上対策事業

本県中学校では、特に知識・技能を活用する力に課題があるため、県内各地で中学校をグループ編成し、学習指導の内容や方法の実践的な研究を進め、生徒の学力向上を図っています。

●神石高原町地区研究推進地域

三和・神石・油木・豊松の4中学校が連携し、生徒の思考力・表現力の育成に取り組んでいます。研究授業の前には、4校の教科担当者全員で指導案を検討。授業後は、その成果や課題を踏まえ、指導案を練り直します。そして、グループ内の教員がこの研究授業を繰り返し行い、実際の授業に生かしています。



グループの各中学校で、この取り組みを踏まえた授業が行われています。

●高等学校学力向上対策事業

県立高等学校の生徒のさらなる学力向上を図るため、トップリーダーハイスクールなど30校を指定し、生徒一人一人の進路目標の達成を目指しています。

●県立安古市高等学校

トップリーダーハイスクールなどの1年生が、夏休みに東京大学や産業技術総合研究所(つくば市)などで研修を行いました。参加した安古市高校の7名の生徒からは「やりがいのある仕事に就くために、もっと頑張らなければ」、「新しい研究が進んでいることが分かった」などの感想が寄せられました。



産業技術総合研究所では最先端の技術に触れ、技術と産業との関連などについて研修



しっかり勉強頑張るわ!

徳

豊かな人間性や社会性を身に付けよう！

●心の元気を育てる道徳教育充実事業

郷土を愛する心や社会参画への意欲や態度などを育成するため、授業展開の事例集などを載せた広島県道徳教育指導資料を作成します。

●庄原市立東小小学校

地域の自然や伝統・文化などをもとに道徳教材を開発し、児童の心に響く道徳の授業の創造に努めています。この取り組みにより、地域への愛着を深め、郷土を大切にすることを学んでいます。



▲3年生では、地域のショウバラジラの化石の発掘を題材に、あきらめずやり遂げることを素晴らしいことを学習

●「山・海・島」体験活動推進事業

日常とは異なる環境での生活を体験し、児童の自立心や主体性を育てます。また、体験先の地域との交流を通して、コミュニケーション能力など人間関係を形成する力や豊かな心を育てています。

●広島市立三田小学校

5年生の児童が、夏休みに3泊4日「江田島青少年交流の家」に滞在。地元小学生との交流やカッター訓練、星空観察、海辺の清掃などを体験。カッター訓練では、児童の何倍もある重さを2人1組で操って海へこぎ出すなど、貴重な体験をしました。



「離れて」の掛け声の後、いざ海へこぎ出します。指導員の掛け声に、児童も大きな声で返事



優しい気持ちを持ちたいな

体

運動意欲を高め、健やかな体をつくろう！

●体力・運動能力向上推進事業

児童生徒の体力・運動能力調査や体育実技ボランティアの派遣を継続します。また、学校・家庭・地域において、子どもの体力向上を図り、「運動大好きひろしまっ子」の育成に努めています。

●呉市立白岳小学校

全校児童が班で外遊びをする40分間の「わくわくタイム」を週1回実施。そのほか、毎日20分以上の外遊びの奨励、月2回の体育朝会での全校運動の実施、家庭でできる親子運動の紹介、遊具・器具の効果的な活用などを通じ、体力づくりを推進しています。



全身を使い、体をほぐすタオル運動「白岳っ子体操」を教諭が考案。約30種類の動きがあります

●学校や地域における食育の推進

授業で行う「食」に関する指導や個々の児童生徒への相談指導など、食育の取り組みの充実を図ります。また、地元生産者などと連携し、学校給食に地場産物や郷土料理を活用しています。

●福山市立新涯小学校

栄養教諭を中心に、児童の食に対する関心を高め、食べる意欲につなげることに取り組んでいます。1年生ではこれまでに「給食室探検」や「食事マナーについて考える」、「心を込めてあいさつしよう」をテーマに指導。給食の残食率の減少を目指しています。



7月に行った「食事マナーについて考える」授業では、正しいしほの持ち方についても学習しました



運動することが大好き!

夢を育てる環境づくりを進めています！

●ものづくり高校生マイスター育成事業

高校生ものづくりコンテスト全国大会などへの入賞を目指してセミナーを開催。ものづくりに関する技能の向上を図り、将来のものづくり産業の担い手となる人材を育成しています。今後は第3回セミナーを11月20日(土)、第4回セミナーを3月12日(土)に開催する予定です。

●平成22年度の成果(中国大会)

- 次の生徒が選ばれ、全国大会出場を果たしました。
- 旋盤部門1位 坂上雄哉君(県立福山工業高校)
- 旋盤部門2位 山下大智君(県立広島工業高校)
- 電気工事部門1位 平本直己君(市立広島工業高校)
- 木材加工部門2位 下久保史君(県立宮島工業高校)



旋盤部門の中国大会では、県立福山工業高校の坂上雄哉君が第1位に輝きました

●特別支援教育ビジョン推進事業

「広島県特別支援教育ビジョン」に基づき、障害のある子どもたちの自立や社会参加を図るため、一人一人の教育的ニーズに応じた質の高い教育を実施しています。

●県立特別支援学校では

職業的自立を促すため、生徒が自分の仕事分担を理解し、職場の人と協力しながら仕事を進めることを学ぶ「就業体験・職場実習」を実施しています。また、ジョブサポートティーチャーを活用し、生徒の能力や適性に合った職場実習先を開拓しています。



中国中央病院でタオルをたたむ作業をしている福山北特別支援学校の生徒

●バイオアスピリット実践事業

高校生を対象に、夢や目標を持ち、実現させるために努力し続けることのすばらしさに気付かせることをねらいとするセミナーを開催。特に実践力を引き出すことに留意しながら実施しました。

＜具体的には＞8～10月に、講演やワークショップ、実践活動など全4回のセミナーを開催。高校生が企画・運営した実践活動では、西部会場は「遊び」をテーマにプレーパーク作りを、東部会場は「産業」をテーマにラジオ番組作りを、北部会場は「自然・環境」をテーマに自然を守るためのイベント作りを行いました。10月24日(日)には、成果の発表と意見交換および知事の特別講演を行いました。



西部会場で、小学生にこれから遊ぶプレーパークについて説明する高校生

●ひろしま子ども夢スポーツ応援事業

プロ野球の金本知憲選手のふるさと納税を活用し、スポーツイベントなどを実施。スポーツを通じて夢や目標に向かって努力することの大切さを学び、社会全体で子どもの健全育成に取り組んでいます。

●具体的には

今年度からの3年間で、原則小学校5・6年生を対象としたスポーツ教室を、県内23市町で開催。この教室では、派遣されるプロ選手などのデモプレーを見たり、技術指導を受けたり、自らの体験を踏まえた話を聞いたりします。今年度は江田島市など5市3町で実施予定です。



スポーツを通じて、夢に挑戦する君を応援します。ひろしま子ども夢スポーツ応援キャンペーン

新着情報 現在、このような取り組みも進行中です！

●「子ども司書」養成講座

読書の楽しさや大切さを広めよう！

児童の中から読書活動を推進するリーダーを育成。このリーダーが学校や地域で読書の楽しさや大切さを広めることで、児童の読書活動や言語活動を充実させ、学力向上を図ります。

「子ども司書」を目指す140名の子どもたちが、夏休みに図書館での仕事を体験しました。カウンター業務を行ったり、本の整理や修繕を手伝ったり、読み聞かせ会で小さな子どもたちに読み聞かせをしたりするなど、みんな真剣に取り組めました。



●小規模県立高校間の連携推進事業

学校を活性化します！

小規模の県立高校について、学校間の連携により、教育活動の充実を図ります。現在、竹原高校と忠海高校、瀬戸田高校と因島高校、向原高校と吉田高校が連携を実施しています。

竹原高校と忠海高校の吹奏楽部は、8月に行われた「第51回広島県吹奏楽コンクール」に合同で出場し、「高等学校小編成部門」で銀賞を受賞。両校26名の部員が合同練習を重ね、単独校での演奏よりも音に幅のある演奏をすることができ、受賞につながりました。3月には合同定期演奏会を開催予定です。

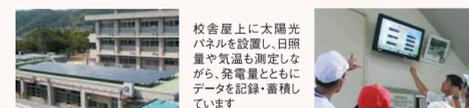


●太陽光発電パネル設置事業

県立学校へ太陽光発電を導入しました！

今年度、次の県立学校10校において、太陽光発電装置(15～20キロワット)の設置を行っています。

- ＜高等学校5校＞福山工業(17kW)、三次青陵(17kW)、宮島工業(15kW)、西条農業(20kW)、総合技術(15kW)
- ＜特別支援学校5校＞尾道(15kW)、西条(20kW)、広島西(20kW)、広島北(15kW)、沼隈(15kW)



校舎屋上に太陽光パネルを設置し、日照量や気温も測定しながら、発電量とともにデータを記録・蓄積しています

第8回 福山市立旭丘小学校 頑張る学校訪問記

平成21年度「広島県教育奨励賞」受賞

瞳を輝かせ学び合う子どもをはぐくむ

「自ら考え 共に輝く」を教育目標に掲げ、授業研究に取り組んでいる福山市立旭丘小学校。長年、国語科を中心に「ことばの教育」に力を入れ、論理的思考力や表現力を育てる授業づくりに尽力。「ことばのスキルタイム」や「聴き合い活動」、「評価読み」、「学習の自己評価」など、全学年を通して系統立てた学習を行っています。また、昨年度までは「豊かな体験活動推進事業」の指定を受け、豊かな人間性や自ら考えて行動できる力を育成するための体験活動として、5年生が4泊5日の宿泊学習を体験。今年度も宿泊学習を継続し、これからの教育の柱とされる「ことばと体験」を重視した先進的な教育を展開しています。学校全体や個々の児童の変化に対し、地域の内外から高い評価を得ると同時に、学力調査の成績でも全国平均を大幅に上回るなど、大きな成果を挙げています。

「ことばの教育」の取り組み

- ことばのスキルタイム
国語の中で年間25時間を設定し、あいさつや対話などの基本的なコミュニケーション技術、情報を的確に分析する技術など、確かなことばの力を育成。
- 聴き合い活動
じっくり考えたり物の見方を広げたりするため、ペアやグループになってお互いの意見を交換。国語だけでなく、算数や道徳の授業の中でも行っています。
- 評価読み
広島大学名誉教授・比治山大学教授の森田信義氏の指導で平成18年度から導入。説明的な文章について、筆者の意図や表現の効果を考えながら読むことで、思考力や表現力を高めます。



▲意見を聴き合い話し合うことが、考えを整理し、より広い視野を持つことにつながります

広島県教育委員会ホームページ「ホットライン教育ひろしま」に、過去の「頑張る学校訪問記」を掲載しています。

やりがい

～人づくりの現場から～



坂町立坂中学校
指導教諭

藤原 文代 さん

平成21年度から、校内の特別支援教育に関する窓口である特別支援教育コーディネーターとして校内や地域内、関係機関との連携を推進している。保健体育科教諭。

人はつながり合い、
支え合って生きていく

Q 特別支援教育では、どのようなことを大切にしていますか。

A 特別支援教育に限ったことではありませんが、30人の生徒がいれば、30通りのニーズがあります。一人一人の状態などを理解した上で、必要な支援を行ったり環境を整えたりすることが重要です。どの生徒も持っている「学びたい」「育ちたい」「分かりたい」という気持ちに、しっかりと応えたいと思っています。

Q 保健体育科の授業では、どのように取り組んでいますか。

A 体力はもちろんですが、コミュニケーション能力の向上も重視しています。具体的には、個人ではなくペアやグループで学習を行い、声を掛け合い、教え合い、助け合いながら学ぶ中で、生徒たちが仲間と豊かに関わられるように心掛けています。保健体育科だからこそ、できることがたくさんあると感じています。

Q 最近の授業や生徒とのふれあいを通して印象に残っていることを教えてください。

A 体育祭で、全校生徒341人でよさこいを踊ったことです。夏休み前から保健体育の授業などで取り組んできたのですが、夏休み中は生徒が主体的に練習したり、部活内で先輩が後輩を指導したりするなど、生徒たちの意欲が伝わってきました。本番では素晴らしい演技を披露し、机上では学べない大切なものを得たと思います。



広島湾に面した坂町をテーマに創作したよさこい。坂中学校体育祭の伝統になりつつあります

Q 今後の課題、取り組んでいきたいことは、どのようなことですか。

A 生徒たちが将来、個々に合った形で社会参加していくための力をつけることが重要だと考えています。そのために、生徒一人一人の気持ちを大事にくみ取りながら、意欲を引き出す指導をしていきたいと思っています。



Q どんなときにやりがいを感ずりますか？

A 生徒は、その子なりの成長を遂げるとき、さまざまな表情を見せてくれます。笑顔だったり、涙だったり、誇らしげだったり。小さなことでも何かを達成した時に見せる表情は本当に輝いています。わたしにとっても何物にも代えられない喜びです。

おでかけガイド

※詳細については、各施設にご確認ください。

広島県立歴史民俗資料館 ☎0824(66)2881
三次市小田幸町122

平成22年度 秋の特別企画展
「祭りに舞うー広島舞楽・能楽・神楽ー」
▲入館料／一般:500円、高校・大学生:380円、小・中学生:250円
●期間／開催中～11月21日(日)
●内容／広島に伝わる舞楽、能楽、神楽にまつわる装束・面・絵画資料など、国指定の重要文化財(7点)をはじめとする貴重な文化財を展示します。



能装束 紅地鳳凰
桜雪持笹文唐織
(宗教法人 厳島神社蔵)

広島県立歴史博物館 ☎084(931)2513
福山市西町2-4-1

平成22年度秋の企画展
「幕末の動乱と瀬戸内海」
▲入館料／一般:700円、高校・大学生:520円、小・中学生:350円
●期間／開催中～11月23日(火・祝)
●内容／外国船の来航、洋式船の登場、長州戦争、そして明治維新。幕末の動乱期に瀬戸内海で何が起こったのか、また、その中で人々はどう生きたのかを紹介します。



いろは丸とみられる蒸気船
(財団法人 鍋島報効会蔵)

頼山陽史跡資料館 ☎082(542)7022
広島市中区袋町5-15

頼山陽生誕230年・頼山陽史跡資料館開館15周年記念企画展「頼山陽の書風」
▲入館料／常設展の入館料で観覧可。一般:300円、小・中・高校生:150円(土曜日は無料)、65歳以上:240円
●期間／開催中～11月28日(日)
●内容／江戸時代を代表する歴史家・頼山陽は、能書家としても知られ、その書風は高く評価されて

いました。頼山陽の遺墨を年代順に紹介しながら書風の変遷をたどります。

吉田駅詩右幅
(吉田小学校蔵)

広島県立図書館 ☎082(241)4995
広島市中区千田町3-7-47

県立図書館フェア 臨時開館
●日程／11月3日(水・祝)
●内容／9時30分から17時まで、臨時開館します。臨時開館に併せて「ロビーコンサート」「豆本づくり等実演コーナー」「図書館友の会協賛・おとなのおはなし会」ほかのイベントを実施します。

広島県立福山少年自然の家 ☎084(935)7166
福山市金江町藁江619-2

「冬の子たんけん隊」参加者募集!
里山にはみんなの知らない自然がいっぱい。森の中を歩き、動物や植物の秘密を探ります。天気が良ければ夜の森の観察もできます。「愛・地球博」で活躍した自然観察のインストラクターをゲストに、森の探検に出掛けましょう。
●日程／1月29日(土)・30日(日) 1泊2日
●対象／小学3年生～中学生(定員男女各16名)
●参加費／4,600円
●申込受付期間／12月11日(土)～25日(土)
※当日消印有効(往復ハガキで)

修復が完了しました!
ぜひお出掛けください

厳島神社より古い鎮座と伝えられている宮島の大元神社。現在の建物は戦国時代の大永3(1523)年の造営で、現存する日本唯一の「六枚重三段葺」の屋根を持つ建物です。施されている彫刻の一部は現在の社殿以前の建物からの再利用と考えられています。



お問い合わせ／厳島神社 ☎0829(44)2020
廿日市市宮島町

臨時的任用教員・非常勤講師募集

広島県教育委員会では、県内の公立学校(小・中・高等学校および特別支援学校)の臨時的任用教員および非常勤講師の希望者を募集しています。

- 区分／①臨時的任用教員 ②非常勤講師
- 内容／①欠員補充や産前産後休暇、育児休業、休職等の代替のために、臨時的に勤務する常勤の教諭および養護教諭
②あらかじめ定められた教科の授業を行う等の非常勤の講師

お問い合わせ／教職員課
☎082(513)4922、4924

体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口

早期の状況把握・被害の拡大防止のため、体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口を設置しています。

- 小・中学校など市町立学校／各市町教育委員会にお問い合わせください。
携帯電話版広島県のホームページ(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/i>)に各市町教育委員会の窓口を掲載しています。
※相談窓口>教育・文化・交流>教育>体罰・セクシュアルハラスメント相談窓口>各市町教育委員会
- 県立学校／すべての県立学校に相談窓口(担当教職員)を設置しています。担当教職員は、管理職を含む複数の教職員です。電話による相談については、学校の代表電話におかけください。
- 広島県教育委員会事務局／
〈専用電話〉相談時間:月曜～金曜(祝日および年末年始を除く)午前8時30分～午後5時15分
☎082(513)4917 ☎082(513)4918 ☎082(513)4919
- 県立教育センター「体罰・セクハラ等相談ダイヤル」／
〈専用電話〉相談時間:月曜～金曜(祝日および年末年始を除く)午前9時～午後4時
☎082(427)3076

こちらにお電話ください



平成23年度 スクールカウンセラーの募集

- 資格／臨床心理士、精神科医、大学教授等／大学院修了後1年以上または大学卒業後5年以上、児童生徒を対象にした相談業務等の経験者など
- 内容／児童生徒に対する個別のカウンセリングや子どもへの接し方について保護者・教職員への助言・援助など
- 勤務日および勤務時間(予定)／勤務日:1校当たり年間12～28週 時間:週当たり4～6時間



お待ちしております!

お問い合わせ／指導第三課 ☎082(513)5043

介護福祉士・社会福祉士を目指す皆さんへ ～修学資金貸付のご案内～

介護福祉士・社会福祉士を目指す養成施設で学ばれる場合、広島県では修学資金の貸付を行っています。

- 貸付内容／2年制課程の場合で最大160万円、無利子
- 返還免除／卒業後、県内で介護等業務に5年間従事

お問い合わせ／広島県社会福祉協議会
☎082(254)3415

子どものことでお悩みのときは

子どものことでの悩み事は学校のほか、次の相談電話を利用することもできます。

- 特別支援教育・教育相談部
県立教育センター 月～金曜/9時～16時 ☎082(428)1188
- 心のふれあい相談室
県立教育センター 月～金曜/9時～16時 ☎082(428)7110
- こころの相談室
広島県福山庁舎第2庁舎内 火・水曜/10時～17時 ☎084(925)3040
- こころの相談室
北部教育事務所 月・水曜/9時30分～16時30分 ☎0824(63)3141
- 暴走族相談電話
県教育委員会指導第三課 月～金曜/9時～17時 ☎082(227)5034
- いじめダイヤル24
県立教育センター 月～金曜/9時～19時 ☎082(420)1313
●留守番電話対応:月～金曜/19時～9時、休日/24時間

県の教育行政に対するご意見などは、メールや郵送で受け付けています。



●広島県教育委員会ホームページ
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/>

ホームページ
パナー広告募集中



●Eメール
kyoukouhou@pref.hiroshima.lg.jp



●郵送／〒730-8514
広島市中区基町9-42 広島県教育委員会総務課秘書広報室 宛



〈編集・発行〉

広島県教育委員会総務課秘書広報室
〒730-8514 広島市中区基町9-42
☎082(513)4934

※点字版の「くりっぷ」を発行していますので、希望される方はご連絡ください。